



- 1 **羅針盤** 中小企業の生産性
- 3 第24期「誓願出陣式」
- 3 新型コロナには正しく恐れて正しく対処！
- 5 「足場パック」スプリングキャンペーンがスタート！
- 6 家の総点検にはドローンが最適
- 8 金銭感覚を考える

中小企業の生産性



アウトプットから逆算する

中小企業の生き残りを考えるうえで、生産性は極めて重要な概念です。そして、経営学者の P.F.ドラッカー氏は、生産性について様々な指摘をしておりますので、それを踏まえて、生産性について整理してみたいと思います。

仕事を生産的なものにするためには、その手段に順序があります。まず仕事に必要な作業と手順と道具を知るために分析を施します。続いて個々の作業を集約しプロセスとして編成します。そして仕事のプロセスのなかに、方向づけ、質と量、基準と例外などについての管理基準を設けます。そのうえで有効な道具を確保します。

それには、常にアウトプットを中心に考える姿勢でいなければなりません。「こんな材料がある。これで何かを作れば売れる」みたいにインプットから考えるのはダメなのです。既存の技能、情報、知識などは道具に過ぎないからです。それに、そもそも道具というのは、いつ何のために使うかによって、その価値や意義が決められるものです。

つまり、様々な道具はアウトプットによって規定されます。そして、成果を確実なものにするために優れた道具を確保し、十分な工程や管理を整備するのです。つまり、「お客さまのためにこういうものを作りたい。そうすれば売れる」というところから逆算して、成果に至るまでの様々な要素を規定していくのです。まさに生産性の確保とは、本質的にはマーケティングそのものと言えましょう。

生産性の要因を規定

これらの前提に基づいて、生産性を構成する様々な要因を規定します。まず知識です。これは正しく使用したとき、最も生産的な資源となります。次に時間です。これは大きな制約要因になり最も欠乏する希少な資源です。他をもって代えることはできず、借りたり、買ったりすることもできません。まさに、最も適切な管理が必要とされるものです。

そして、自らの強みとなる特有の能力を活用しながら、適切な組織構造を構築して、工程に関わる各部署間のバランスを整えます。そのうえで同一の資源を使ってできる製品の組み合わせや、内製化するかアウトソーシングするかなどを選択するという工程の組み合わせを考えるのです。

こうした点を踏まえながら、様々な無理、無駄、ムラを排除することに努めます。

それぞれの工程において、過大な業務負荷や設定を誤った目標数値は無理につながり、生産性の低下を招きます。また、過剰に配分された経営資源や不必要な固定費を見直せば無駄がなくなり生産性はアップします。さらに、業務の特性に伴う忙しい時期や暇な時期を理解しなければ、同じ生産資源を投入していても成果にバラツキが生じてしまいます。必ず需要と供給のバランスをコントロールしてムラをなくすようにしましょう。

質の向上こそ最大の生産性確保

スケールメリットを追求しにくい中小企業では、生産性は量よりも質を基準として、その価値を決めるようにしましょう。同じコストでより高い品質の商品やサービスの実現は、高収益を生み出すことにつながり、まさに至上命題とも言える重要なことなのです。

そして、これはビジネスマンの仕事においても同様に言えることです。例えば、設計やデザインに関わる仕事などは顕著で、大企業の社員と同じ時間でより優れた作品を完成させ、お客さまから納得をいただければ、まさに効率性が格段にアップし、ひいては社内に対して良好なキャッシュフローを実現することに結びつくからです。

もちろん、スピードアップを図り、アウトプット数を増やすことも生産性確保につながりますが、中小企業では大企業ほどの大きな成果にはなりにくいのです。それよりも、もしスピードアップによって時間を確保できたならば、それをさらなる質の向上のための様々な方策に当ててこそ、真の生産性確保が達成されるのです。

中小企業は、大企業とは違った視点で、お客さまに価値ある商品やサービスの提供を実現しなければ、生産性確保はできません。それには、大企業には達成できない質の向上を実現することです。それこそが、中小企業における生産性確保の最大のポイントであり、お客さまに提供できる一番のメリットであることを改めて強く認識したいと思います。

第24期「誓願出陣式」

躍進は、去る2月12日に、第24期「誓願出陣式」を開催いたしました。24期目を迎えることができましたのは、ひとえに皆さまのご支援の賜物と心得ております。

会場には、全社員が集結し、今年のスローガンである「チェンジ・チャレンジ・成長・大躍進!!」を誓いあいました(写真参照)。

今期も防水、木材保存、塗装を中心に、「漸進主義の年輪経営」を実施し、幅広い分野にチャレンジいたします。よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

注：なお、記念写真撮影のために整列し、ほんの一瞬だけマスクを外しました。

新型コロナには正しく恐れて正しく対処！

躍進は、新型コロナウイルスの蔓延が叫ばれはじめた2020年初旬以降、様々な感染症対策をしてまいりました。そのひとつが抗体検査キット(次ページ写真参照)によるチェックで、コロナ禍が叫ばれた当初から、今日に至るまで毎月検査を実施しております。

免疫力アップを実施

感染症対策の基本は、個々の免疫力アップに他なりません。免疫には様々なものがあり、人間が確保しているマクロファージ、ナチュラルキラー細胞(NK細胞)などの自然免疫をはじめ、その自然免疫が刺激されて強くなり他のウイルスに対しても効力を発揮する訓練免疫、そして侵入してきたウイルスが自然免疫を突破してきた時に機能する獲得免疫などです。ワクチン接種はウイルスに有効な抗体を誘導するものです。



免疫力は、主に適度な運動と休養を実践すること、体温を上げ体を温めること、ストレスを軽減すること、腸内環境を整えることによって強化されます。特に、過度のストレスは、交感神経を必要以上に緊張させ、副交感神経とのバランスを崩し、白血球やリンパ球などの免疫細胞の働きを低下させます。万全の対策を施しているにも拘わらずコロナ感染してしまうのは、多忙で一時的に体調を崩し、免疫力が低下して、その隙に感染したとしか説明がつかないのです。

お客さまの安全確保を第一に

そして、マスク装着とこまめな手洗いを徹底しています。電子顕微鏡で見なければ確認できないウイルスには、マスクの網の目は粗すぎて、まるでテニスラケットで砂粒を払うようなものであり、自らの防護効果はほとんどないのです。

しかし、マスクは、自分がくしゃみなどをした場合、飛沫を遠くに飛ばさない効果があるので、お客さまの安全確保には有効な措置です。同時に手洗いも、あちこち触ることでウイルス拡散を防止することができます。まさに、お客さまの安全確保が第一だからです。

ウイルスは変異を繰り返すたびに弱毒化し、インフルエンザのように人類と共生していくようになります。平穏な日常を取り戻すまでは、もう少し時間がかかります。躍進はそれまで、基本的な知識を順守・活用し、対策の確認作業として抗体検査キットを用い、万全の態勢を整えて、確実にお客さまの安全を守りながら、仕事に臨んでいきます。何よりも正しく恐れて正しく対処し、このコロナ禍を乗り切っていきましょう。

「足場パック」スプリングキャンペーンがスタート！

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」のスプリングキャンペーンがスタートしました。そして、そのキャンペーンを代表する商品が、『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。



家の総点検にはドローンが最適



躍進がお届けしている注目の新システム「ドローンを用いた空撮による屋根、外壁、防水箇所の点検」は、大好評をいただいております。

ドローンは、元々軍用に開発された無人機で、現在では、遠隔操作または自動操縦で飛行できる重量が200g以上の無人航空機を指すようになりました。今や、趣味やスポーツの分野にまで普及し、さらなる規制緩和で、多くの活用が期待されています。

短時間での点検が可能に

ドローン点検のメリットは様々にあります。

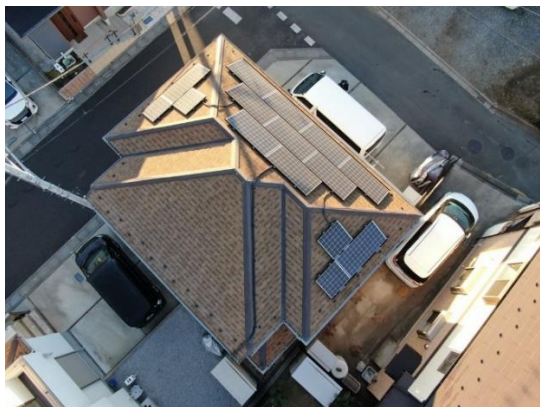
まず、**その場で一緒に屋根・外壁の撮影画面を確認できます**。お施主さまも点検画面を確認できるため、安心と納得を提供できるのです。

また、**画面を見ながら細かいところまで確認ができます**。搭載したカメラのズーム機能を活用することによって、詳細な確認が可能となります。

さらに、**足場を組むこともなく、高所での作業が必要ないので短時間で点検できます**。**屋根に上らないので、屋根材を傷めることもありません**。

衝突防止機能も万全

ドローン操作を安全・確実なものにするために、各種センサーを活用し、3つの万全な衝突防止対策を実施しています。



1 つ目はデュアルビジョンセンサーですが、これは、**機体センサーで障害物までの位置を検知し、衝突防止を実現します。**

2 つ目の気圧・風速センサーによって、**気圧・風速を感知することで、安全な状態での飛行を実現します。**

3 つ目の赤外線検知システムの活用によって、**ビジョンセンサーだけではなく、赤外線でも障害物を検知します。**

保険をはじめ適切なトラブル対応を実現

そして、トラブル発生に備えて、保険の完備をはじめサポート体制も確立しています。

対人・対物の保険として、**万が一の事故に備え、対人・対物とも1億円まで補償対応いたします。**

人権侵害の保険として、**点検によりプライバシーを侵害した場合、損害賠償金を補償いたします。**

「ドローン対応チーム」によって、**事故発生時もドローンのプロフェッショナルチームによる対応を実施いたします。**

ドローン活用で点検は進化

ドローンの活用によって、建物の定期メンテナンスも容易になり、言うまでもなく、点検も当日で完了します。

また、コストの削減や時間の短縮だけでなく、安全性や点検のクオリティにおいても、高所作業が不要となったので、人身事故ゼロを実現できるようになりました。

まさに、ドローン活用で点検は進化しました。いまや、家の総点検にはドローンが最適と言っても過言ではないでしょう。お申込み、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしています。

金銭感覚を考える 住宅コラム

住宅取得は、人生におけるライフイベントのなかでも、1、2を争う重大なものです。特に、一次取得者といわれる若年層は、住宅に対してどのような価値観を抱いているのでしょうか。例えば、持ち家でなくとも借家で十分であるとか、持ち家でも戸建てにこだわるかマンションに魅力を感じるかなど、それぞれの価値観によって十人十色、千差万別です。

それを知るには、住宅を含めた様々なものにどのような価値を抱いているか、そして、それに対してどのようにお金を使いたいと思っているかを知る必要があります。

これを踏まえて、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社は、2021年12月3日から4日の2日間、20歳から29歳の男女を対象に「20代の金銭感覚についての意識調査2022」をインターネットリサーチで実施しました(1,000名の有効サンプルの集計結果を公開)。なお、前回調査である「20代の金銭感覚についての意識調査2021」は2020年11月に調査しております(2021年1月14日発表)。

それによると、住宅を購入しようと思える世帯年収額について、20代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収900万円(52.4%)だったのに対し、今回調査では年収800万円(57.9%)とハードルが下がった模様です。

一方、住宅取得の前に実施されることが多い大きなライフイベントは結婚ですが、それをイメージできる年収は、20代の半数以上が500万円(51.9%)であることがわかりました。前回調査では年収600万円(57.5%)だったのに対し、今回調査ではこれについてもハードルが下がったようです。

貯蓄状況についても、現時点では「50万円以下」(44.7%)が最も多く、「50万円超から100万円以下」(16.3%)などの回答もあり、他方「0円」は14.0%となりました。前回の調査結果と比較すると、現在貯蓄できているお金の調整平均(上位と下位からそれぞれ10%のデータを除外して算出した相加平均)では、前回調査の72万円から今回調査では68万円と4万円の減少となりました。

こうした点を考えれば、結婚後の共働き生活は必然的となります。その一方で、出産・育児などが重なれば、当然ながら家計の支出は増えることになります。やはり現実的には、20代の住宅取得は、経済的に恵まれた一部の人にもみ実現する夢なのかもしれません。

<p>株式会社 躍進</p> <p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、 ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除 及び予防、調湿剤、床下換気 等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断</p>
---	---	--